


未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4451
24年5月31日(金)
Tel・Fax 095-828-1953

正社員登用試験応募開始 採用予定数は昨年より減少

おはようございます。

5月23日、郵政ユニオン中央本部に対し、日本郵政グループを代表して日本郵政(株)より期間雇用社員等から正社員(一般職)への採用(登用)について情報提供がありました。

採用までのスケジュールは表の通りですが、一次審査可否通知から二次審査の実施時期、最終合否通知の実施時期は昨年とほぼ同じ時期となっています。

選考方法は一次審査では国語、算数など基礎能力及び適性検査(Webテスト方式)で合否は適性試験の結果、勤務成績等を総合的に評価して決定するとなっています。

一次審査免除の条件として①過去2年間(2022年度又は2023

年度)の正社員登用一次審査合格者

②過去2年間の受験者で直近2回のスキル評価がスキルA習熟度ありの者が適正試験対策講座の受講状況、日々の業務遂行能力及び各社ごとの業務特性を踏まえた資格取得状況等を総合的に勘案し会社適当と認められた者となっています。

二次審査は面接試験で最終的な合否は面接試験の結果、ビジョンレポートの内容、勤務成績等を総合的に評価して決定す

項目	実施時期
周知・応募開始	2024年6月3日(月)
応募締切	2024年7月1日(月)
一次審査(適性試験)	2024年8月30日(金)~9月11日(水)
一次審査可否通知	2024年10月上旬頃
二次審査(面接試験)	2024年10月中旬~11月下旬頃
最終合否通知	2024年12月中旬頃
正社員採用	2025年4月1日(火)

となっています。こちらにも例年通りで変更点はありません。



今年の採用予定数ですが日本郵政グループ全体では、昨年の採用予定数より30人減少しています。内訳は日本郵便の郵便コース、窓口コースは昨年と同じ人数。また、かんぽ生命も同様で昨年と同じ人数です。日本郵政に関しても採用予定数は若干名で昨年同様です。唯一、ゆうちょ銀行が、昨年の80人から今年は50名程度と減少しています。



正社員登用試験は以前と比べて合格率は高くなっているようですが、WEB試験の点数の開示はなく、合否についても不

透明な部分があります。今年の採用予定数については、昨年を下回っている狭き門に変わりはありません。

2024年度(2025年4月1日採用)採用予定数

採用予定数	
日本郵政(株)	若干名
日本郵便(株)	郵便コース 2700人程度
	窓口コース 500人程度
(株)ゆうちょ銀行	50人程度
(株)かんぽ生命	20人程度

正社員登用試験と言っても採用は一般職です。一般職の月々の給与は、少しは改善されてきていますが、依然、スキルA有りよりも低いという話もよく耳にします。超勤の単価も下がり、正社員になったものの、責任や成果などを求められ、退職した社員もいます。正社員登用数の拡大は当然求めていかなければなりません。一般職の待遇改善も急務です。

「月給制契約社員等のあり方に見直しに関する要求書」に関する回答

5月16日、日本郵政グループを代表して日本郵政(株)より回答がありました。

①月給制契約社員の廃止時期を1年延長して2026年3月末までとしつつ、正社員登用の特例措置を2025年度も実施する

②短時間社員に係る本提案内容(社員区分の廃止)を取り消すこととする。(短時間社員は、日本郵便(株)だけではあるが、2024年1月現在で約1,360人)

40歳代約200人
50歳代約650人
60歳代約490人

月給制契約社員から時給制契約社員に変更する場合は、月給制契約社員の年収が時給制の年収を下回る場合、その差額を保障するとしています。

郵政ユニオン本部は、現場の声を大切にしたい交渉を引き続き行っていきます。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を全員の正社員化を。ゆえに、均等待遇、なごみの差別。ユニオンは労基法裁判に勝利を収めた。